

## 【(10) 授業の評価・まとめ】

### ③「本時の要点を確認している」

#### 《つまづきの背景》

C 記憶力の弱さ、H 刺激の選択の困難さ、L セルフモニタリングの困難さ

#### 《解説》

授業のまとめとして要点を確認することで、本時のねらいや重要なところが明確になり、学習した内容が整理しやすくなります。

学級の中には、本時のねらいを授業の最初に確認しても忘れてしまったり、要点が理解できにくかったりする子どもがいる場合があります。要点をワークシートで確認したり授業の流れを振り返ったりすることで、本時のねらいを再確認できたり要点が理解しやすくなったりします。

まとめとしては、要点をワークシートに書くようにしたり、小テストをして確認したりする方法が考えられます。国語では時系列や心情に注意しながら授業の流れを振り返り重要な点を確認したり、重要語句を全員で声に出して読ませたりするなどの方法も考えられます。

#### 【工夫点】

- ・ 本時の要点を板書したり、ワークシートで確認したりする。(小中高 工夫例 66)
- ・ 小テストをして要点を確認する。(小中高)
- ・ 新出用語やその意味を全員で声に出して読ませる。(小)

#### ◆工夫例 66「本時の要点を板書したり、ワークシートで確認したりする」

まとめ		
現 代	江 戸	
		物の豊かさ
		心の豊かさ

#### 《国語 古典（中学校 1 年生）》

授業の最後に、板書に沿って本時の流れを振り返った後、二つの時代の違いを表にしてまとめるようにします。

表にしてまとめることで、二つの時代を比べ、ポイントが整理しやすくなります。